

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	春日部市立第7保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	新宅 美香	定員(利用人数)：	66 名
所在地：	〒 344-0058 春日部市栄町3丁目166番地	TEL	048-754-7426

③評価実施期間

令和3年 7月 16日(契約日)～令和 3年 3月 17日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

・広い所庭が自然との触れ合いの場として活用され、子どもの成長発達に良い刺激を与えています

広い所庭は、田んぼが近くにあることから、カエルやバッタなどの小動物が生息しています。子どもたちは四季ごとの様々な虫探しを行うことができます。さらに、土と草にふれることで、子どもの四肢に心地よい刺激となっています。加えて、所庭に飛来する小鳥の姿も見ることができます。また、所庭には夏野菜や根菜の作れる畑もあります。この畑で、例えば秋には芋ほりを行います。畑で収穫したサツマイモや夏野菜は調理室で調理し、子どもたちが食べます。その他、所庭のトラックの周りには乳児用と幼児用の固定遊具があり、こどもが様々な遊びを楽しめるスペースを用意しています。

・職員と子どもの良い関わりが、保護者の理解を得られています

今回の調査時に実施した保護者アンケートの自由記述に、保育所内の雰囲気や職員について「あたたかい」「明るい」「ほほえましい」など、子どもを通しての職員に対する肯定的な記述がありました。職員は子どもを楽しく豊かに育むことを意識し、生き生きとする子どもの姿を心掛けた保育を展開しています。こうした保育の姿勢に対し、保護者アンケートでは肯定的な意見が多数ありました。また、保護者は、園内には入れず、こどもの園内での様子を見て確認することができません。しかし、保護者は、保護者と子どもとの会話、保護者と職員との会話を通して、職員が子どもへの前向きな声かけや良い関わり方をしていると理解していることが、アンケート結果からわかりました。加えて、コロナ禍で行事がほとんど中止になる中、感染症対策を行いつつ運動会を開催しました。運動会は、参観人数の制限や種目を縮小し、子どもの運動機能の成長を保護者に対し表現できるよう工夫して開催しました。

・子どもの心身の成長発達の学びを通して、保育の質の向上を図っています

保育所は、子どもの成長発達に関する継続的な勉強会を実施し、子どもへの理解を高めるようにしています。具体的には、職員が日常生活における子どもの「気持ち」を通して具体的な学習内容を検討していますが、今年度は「子どもの主体性」における勉強会を実施しています。また、職員室の掲示板には、日常生活における勉強会の内容についての気づきを、各職員がその都度短文で明確な表現で掲示しています。こうした気づきの集約が学びのデータ資料として勉強会で取り扱われ、具体的な支援内容の検討材料となっています。また、記述した気づきは職員の様々な視点と支援内容で表現されているため、それを見て職員自身が実践を行い、支援内容を再考する機会にもなっています。こうした、テーマを決めての子どもの成長発達の学習に基づく支援内容の実践が、保育の質の向上に役立っています。

◇特にコメントを要する点

- ・事業計画や人材確保の取り組み実行に向け、職員へのさらなる周知が望まれます

今回の調査において、中長期計画や事業計画を策定し、公立保育所として組織的に取り組みを行っていることを確認しました。当保育所においても、保護者にはもちろんのこと職員への周知も行っていることは確認しました。一方、今回の調査時の職員の声の中に事業計画や人材の確保・定着の施策への理解が弱いと取れる項目が一部ありました。コロナ禍の中で、数多くの取り組みを行い、保育環境の整備や人材確保策を実施していることも確認しましたので、この1点のみで実施事項が欠如しているという訳ではありません。コロナ禍の状況等環境変化が激しいため、保育所全体で一体感をもって事業計画や事業を担う人材の確保に取り組む必要があります。そのために、保育所が行うべき重点事業やその背景について職員の理解を図り、事業計画や人材確保の取り組みをさらに推進させること期待します。

- ・保育所から保護者への情報発信の強化が待たれます

コロナ禍において、保育所では保護者に保育の様子が伝わるよう、送迎時の声掛けや園だよりの改善等様々な方法で保護者とのコミュニケーションを工夫して行っています。また、保護者会で実施したアンケートの結果をまとめたものを保護者に周知し、利用者に対して満足度向上に向けた取り組みの見える化を図っています。しかし、今回の保護者アンケートの一部に保育所の活動をもう少し見えるようにしてほしいと取れる意見がありました。日常的な保護者との関わりの中で保育所の取り組みを伝えているものの、保護者の意見を反映して改善している点をさらに伝えていくことが求められています。公立保育所としてのさらなる情報発信が行われるよう期待します。

- ・保育や行事実施後に行っている振り返りと次回の計画との連動が望まれます

保育所では、市が定める市政の運営指針や子育て支援事業計画を踏まえた、当保育所の事業計画を策定しています。職員への周知にも努め保育所運営を一体となり行っています。定期的に進捗状況を会議で確認し、振り返りも行っています。保護者との日ごろのコミュニケーションにより意見を集計し、今後の課題も抽出しています。しかし、これらの所内外で集められた課題が認識するにとどまっていることが散見されました。今回の評価時の保護者アンケートの一部にも意見が反映されていないと取れる意見が寄せられていました。緊急性や重要性のあるものは即座に対応していますが、次の計画に反映されている事柄を確認することが出来ませんでした。取り組み後の会議やアンケート等を実施し課題を抽出していることは今回の調査時にも確認出来ています。それを次回の計画に加えたり、これまでの計画を見直したりすることが望まれます。市の方針や市内公立保育所との整合性ではなく、個別課題に応じた計画へと反映させていくことが待たれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

子ども達一人ひとりが、主体的に楽しく通えることを目標に、職員間の情報共有や勉強会を行いながら、質の向上に努めてきました。子どもや保護者の気持ちに寄り添いながら、日々保育を変化させてきたことに評価をいただいたことを嬉しく思いました。今後も前例踏襲ではなく、子どもと共に進化し続ける保育所でありたいと思います。また、情報発信のあり方や振り返りと実践の連動等、明確となった課題に関しては、真摯に向き合い具体的解決策を見出していきたいと考えます。保育所全体を多角的にとらえる良い機会となりました。ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり